ホテル&サービスアパート

NTT都市開発
大阪・四つ橋筋にホテル
191室で23年夏開業へ

NTT都市開発㈱（東京都千代田区外神田4－14－1、☎03－6811－6300）は、大阪市西区で開発を進めている「（仮称）京町堀一丁目計画」について、新施設の建設に着手した。客室数が191室のホテルで、規模はS造り13階建て延べ約1万600㎡。2023年夏の開業を予定している。

「京町堀一丁目計画」のイメージ

京町堀一丁目計画の所在地は大阪市西区京町堀1－110ほかで、四つ橋筋に面し、京町堀特有の賑わいと、近接する靭公園の落ち着きを合わせ持つ場所。また、大阪メトロ四つ橋線の肥後橋駅や、御堂筋線の淀屋橋駅からのアクセスも良く、観光やビジネスにおいて高い利便性がある。

規模は敷地約1200㎡、S造り13階建て延べ約1万600㎡。主要用途はホテルを想定し、ホテル事業者は未定。客室数は191室を数える。「ここから、めぐる。」を開発コンセプトに掲げ、客室のほか、低層部に2層吹き抜けのロビー・レストランを配置し、ガラスカーテンウォールから内部の雰囲気があふれ出ることにより、四つ橋筋の賑わいを向上する。

そのほか、ミーティングルームやフィットネスジムを設け、訪れる顧客の様々なニーズに応える空間・サービスを提供する方針だ。

設計監理は㈱錢高組一級建築士事務所と㈱アパ アソシエイツが行い、施工は錢高組が担当。新施設は5月に着工しており、23年1月に完成、同年夏の開業を目指している。

●東急スポーツオアシス

4事業展開へ変革
非店舗型なども注力

㈱東急スポーツオアシス（東京都渋谷区道玄坂1－10－8、☎03－6427－0028）は、企業ミッションの見直し、非店舗型サービスを含めた4事業への改定を行い、これまでの「ジム運営会社」から「ウエルビーイング総合カンパニー」へ業態変革する。店舗型のフィットネス事業に加え、非店舗型の事業やサービスにも注力するほか、新サービスの拡充などにも取り組んでいく。

同社は、総合型・店舗型フィットネスクラブの利用者減や、その一方で、自宅でできる健康維持への需要拡大、精神面の健康維持の重要性といった社会変化などに対応するため、企業ミッションを見直し、新たに「Well-being First!」に改定。また、これらに伴い、これまで同社が展開してきた「フィットネスクラブ事業」「その付帯事業」という構造を捨て、同社の事業を新たに①フィットネスクラブ事業（店舗型）、②ホームフィットネス事業、③デジタルヘルス事業、④BtoB／BtoC事業（健康経営コンサルティング）の4事業へ再編する。

①は、充実した器具類や多様なメニューを揃え、スポーツ愛好層のニーズを満たすサービスを提供。今後は、より幅広い健康需要に対応すべく、スポーツトレーナーだけでなく、健康に関わる様々な専門家と連携し、総合的に健康をサポートする。

②は、①で培ったノウハウを活用し、自宅で気軽にトレーニングメニュー、レッスンのLIVE配信など、ジムを持ち歩く"をコンセプトにしたアプリ「WE GYM」を中心に、デジタルを活用して場所も時間も選ばないウェルビーイング体験を提供。④は、運動や健康に関わる商品群の開発、販売に注力する。

③は、1500以上のトレーニングメニュー、レッスンのLIVE配信など、自宅で気軽に運動を楽しめるプロダクトやサービスを開発。コロナ禍で自宅での運動需要が増加していることを受け、これまで以上に気軽に、効果的な商品群の開発、販売に注力する。

●コアグローバルマネジメント

函館湯の川に221室
7月1日オープン

㈱コアグローバルマネジメント（東京都中央区八重洲2－10－10）は7月1日、北海道函館市に「函館湯の川温泉 海と灯（うみとあかり）／ヒューイットリゾート」をオープンする。

所在地は、函館市湯川町3－9－20。敷地面積3358㎡、地上12階建て延べ1万1632㎡で、客室数は221室となる。建物事業者はJA三井リース建物とサンケイビル、ホテル運営者はコアグローバルマネジメント。設計はaa&SUN・石井建築事務所、施工は大成建設。

同ホテルは、北海道三大温泉郷のひとつに数えられる名湯、湯の川温泉を感じられる温泉リゾートホテル。屋上からは津軽海峡を眺め、月と漁火の灯に包まれながら、歴史ある名湯で癒しのひとときを楽しめる。また、食事は、北海道の漁港でその日の朝に獲れた新鮮な魚を使用した寿司や刺身、野趣あふれる豪快な漁師料理を中心に用意する。約150種類の品目で構成されるブッフェ形式の夕食は、北海道最大級のボリュームとする。

MIMARU東京 浅草STATION

雷門近くに新施設
多人数宿泊に訴求

㈱コスモスイニシア（東京都港区芝5－34－6、☎03－3577－1111）は、東京都台東区でアパートメントホテル「MIMARU東京 浅草STATION」を開業した。浅草・雷門近くのロケーションで、多人数での観光・宿泊拠点として訴求していく。

場所は東京メトロ浅草駅から徒歩1分の東京都台東区雷門2－20－4ほかの敷地386㎡。浅草寺やスカイツリーなど、近くには観光名所が数多く、隅田川沿いの立地で周囲が一望できる。施設規模はS造り11階建て延べ2865㎡で、客室数は51室。

客室のタイプは定員4人で約35㎡のスタジオタイプのほか、約50㎡、約70㎡の部屋を用意しており、ゆったりとした空間を演出。ツインベッドのほか、2段ベッドや2ベッドルームタイプの部屋を備える。全室キッチン・ダイニングを用意しているほか、一部客室にはテレビやYouTubeが見られる照明一体型プロジェクターも備え、多人数での快適な滞在や、ワーケーション、イベント、食事会などでの利用に訴求していく。

「MIMARU東京 浅草STATION」の客室

屋上にはテラスを備え、隅田川沿いの浅草の光景を一望できる。ロビーでは様々なアメニティのほか、調理家電やカードゲームなどの貸し出し備品を提供し、快適な滞在をサポートしていく。

宿泊者については、現在は新型コロナ感染拡大の影響などで見通しは不透明だが、今後はワクチン接種の状況などを見て宿泊者の拡大を想定する。「MIMARU」ではコロナ以前の利用者はインバウンドが9割程度を占めていたが、今後はインバウンド回復後もコロナ禍を機に国内での認知・評価がされてきたため、国内利用者の割合も高まってくると予想している。

シープラ

6月は3店出店
21年は積極展開

カプセルトイ専門店「#C-pla（シープラ）」を展開する㈱トーシン（北海道帯広市西6条南40－3、☎0155－48－9480）は6月に埼玉県川口市と岐阜県、青森県に新規出店した。店舗数は31店となる。

現在、ガチャガチャ市場は大人に刺さるハイクオリティのものが増え、昨今のコロナ禍においても約400億円規模のビジネス市場で成長を続けている。最近は、ハイスペックな製品や500円以上の高単価商品も多く発売され、子ども向けのおもちゃという概念を覆し幅広く支持を得ている。

シープラでは、数多くあるガチャガチャを「宇宙」になぞらえ、店舗の地域背景や特徴を店舗コンセプトに取り入れた店作りを行っている。さらに、購入したガチャガチャをその場で組み立てて撮影できる撮影プース「C-pit」を設置しているのも特徴で、他店と差別化を図っている。加えて、来店だけでポイントがたまるLINEサービスも提供している。

6月は8日に、「イオンモール川口」（埼玉県川口市）の3階に最大の設置台数を誇るフラッグシップ店を開店。カプセルトイの「多種多様なバリエーション」や「カラフルさ」をフロア全体で表現している。11日には「イオンモール下田」（青森県上北郡）の2階、16日には「モレラ岐阜」（岐阜県本巣市）の2階にオープンした。青森県と岐阜県への出店は初めてとなった。

2021年は積極出店し

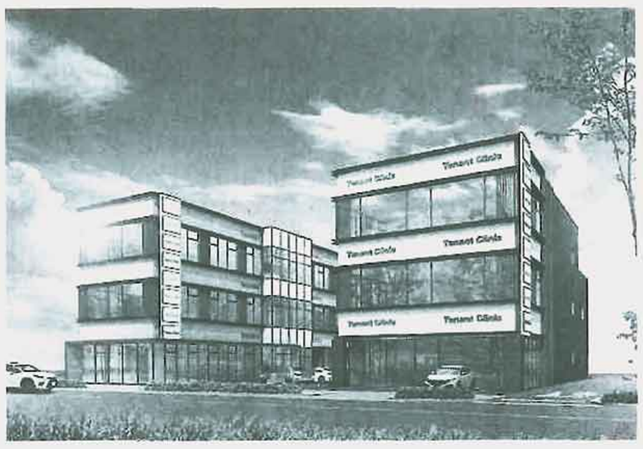
東大阪に医療ビル
2棟で11テナント導入

グラスプ

医療ビルや医療モールを開発・運営する㈱グラスプ（大阪市北区堂島1－5－17、☎06－6344－3243）は、大阪府東大阪市にエリア最大級となる医療ビルの建設を計画している。総敷地面積は3600㎡、建物規模は総延べ2000㎡を想定し、11テナントを導入する予定。2022年9月の開設を目指す。

医療ビルの建設予定地は東大阪市若江西新町で、27年に開業する予定の大阪モノレール・近鉄奈良線の新駅「（仮称）瓜生堂駅」の至近にある。2棟で構成され、1棟は3階建て延べ1000㎡の規模を想定している。付帯駐車場は100台を整備する。

同ビルには移転する5テナントを含め、新たに6区画を設け、計11テナントを導入する計画。既存のクリニックのほか、皮膚科、整形外科、歯科、婦人科、心療内科の専門医を招聘し、保育所も併設する。また、近隣に立地する市立東大阪医療センターと綿密な病診連携を図る方針で、急性期治療は市立東大阪医療センターが行い、慢性期治療は同ビルのクリニックが担うことで、地域医療の拠点を創造する。なお、医療ビルは9月に着工し、22年9月の開設を目指している。



22年9月開設予定の医療ビルイメージ

同社は10年2月に設立し、医療ビルや医療モールの開発・運営などを行っている。医療ビルは自社保有または土地オーナーから建物1棟をマスターリース方式で賃借し、ドクターや調剤薬局などに賃貸するのが基本となる。

エリアは大阪府を中心に、京都府、兵庫県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県などに展開。今後3年間で30施設の開発を計画しており、ここ1～2年で20施設を開設する予定だ。

スポーツクラブ業界の2021年3月期は、各社が減収減益となる厳しい結果だった。新型コロナウイルス感染拡大、それに伴う緊

減収

発出に伴う臨時休館、時短営業で満足な営業ができなかったことが挙げられるが、コロナ禍で既存会員数と新規入会が減少したこと

回復基調となったものの、第3四半期に感染の第3波が広がり、第4四半期で再び緊急事態宣言が発令されたことから、累計入会者数

幅が最も大きかった。

スポーツクラブは緊急事態宣言に伴う休業要請に従い、20年4～5月は全店あるいはほとんどの店舗を休

にスタジオを併設したシンプルな業態や24時間営業業態のニーズが高く、各社これに応える形の店舗開発を進めている。

円（同19・0%減）と、他社に比べ減少幅は小さかった。同社のモデルは3密状態になりにくいセルフトレーニング型であり、これが

nは130億円（同16・4%増）を見込み、同3社のみが予想を公表。セントラルスポーツ、ルネサンスの2社は運営方法の見直しや